

令和6年11月28日

神奈川県剣道連盟

会長 幸野 實 殿

一般社団法人 神奈川県剣道連盟
設立時代代表理事選出選挙
(報告書)

神奈川県剣道連盟 選挙管理委員会

委員長 伊藤龍紀
委員 東城俊也
委員 子島直人

神奈川県剣道連盟選挙管理委員会報告書

1. 設置年月日 令和6年11月1日
2. 構成委員 委員長 伊藤龍紀（海老名市剣道連盟会長）一般 G
委員 東城俊也（神奈川区剣道連盟会長）教育 G
委員 子島直人（緑区剣道連盟） 警察 G

3. 会議開催

(1) 第1回委員会

- ・日時 令和6年11月2日(土)9時30分～
- ・場所 ライン会議
- ・出席 伊藤・東城・子島
- ・内容
 - ① 選挙日程について（確認）
 - 11月1日 選挙実施の告示
 - 11月15日 立候補届け出締め切り
 - 11月16日～20日 立候補者資格確認（選挙管理委員会+監事）
 - 11月21日 選挙（代議員会・理事会）
 - ② 選挙告示について（HP掲載・各支部長通知）

(2) 第2回委員会

- ・日時 令和6年11月6日(水)9時～
- ・場所 ライン会議
- ・出席 伊藤・東城・子島
- ・内容
 - ① 理由書について
 - 下記項目について明記して提出することに決定
 - ・法人化運営に対する考え
 - ・神奈川問題に対する取り組み
 - ・不正金返還に対する取り組み
 - ・本連盟の財務改善に対する取り組み
 - ・剣道人口減少に対する取り組み

※11月7日に開催の県剣連幹部会にて承認

(3) 第3回選挙管理委員会

- ・日時 令和6年11月11日(月)9時～
- ・場所 ライン会議
- ・出席 伊藤・東城・子島
- ・内容

① 立候補者資格確認日時について

- ・日時 令和6年11月17日(日)13時～
- ・場所 神奈川県剣道連盟事務局事務所
- ・出席 伊藤・東城・子島・吉野監事（滝澤監事欠席）
選挙管理委員会事務局員：高田副事務局長

※野見山副会長に事務所使用・事務局員の出勤を依頼。

幸野会長承認。

(4) 第4回選挙管理委員会

- ・日時 令和6年11月12日(火)13時～
- ・場所 ライン会議
- ・出席 伊藤・東城・子島
- ・内容

① 代議員代理者届について

別紙通知文にて各支部長に周知・HP掲載することで決定

(5) 第5回選挙管理委員会

- ・日時 令和6年11月17日(日)13時～
- ・場所 神奈川県剣道連盟事務局事務所
- ・出席 選挙管理委員：伊藤・東城・子島
監事：吉野和世

・内容

① 立候補者資格審査

② 立候補者及び立候補理由書のHP掲載・会員への発信について

(6) 第6回選挙管理委員会

- ・日時 令和6年11月18日(月)11時～
- ・場所 ライン会議
- ・出席 選挙管理委員：伊藤・東城・子島

・内容

① 会場配置図について

② 選挙結果表について

③ 投票用紙・投票箱について

(7) 第7回選挙管理委員会

- ・日時 令和6年11月20日(水)14時～
- ・場所 ライン会議
- ・出席 選挙管理委員：伊藤・東城・子島

・内容

① 選挙次第について

- ② 選挙進行口述書について
 - ③ 選挙方法について
 - ④ 立候補者資格審査結果報告について
 - ⑤ 選挙結果表について
 - ⑥ 投開票事務準備品について
- (8) 第8回選挙管理委員会
- ・日時 令和6年11月21日(木)10時30分/16時
 - ・場所 ライン会議/神奈川県剣道連盟事務局事務所
 - ・出席 選挙管理委員：伊藤・東城・子島
 - ・内容
 - ① 信任投票・承認投票の過半数の考え方について
- (9) 第9回選挙管理委員会
- ・日時 令和6年11月22日(金)10時30分
 - ・場所 ライン会議
 - ・出席 ライン会議・選挙管理委員：伊藤・東城・子島
 - ・内容
 - ① 選挙結果について

4. 選挙結果

- (1) 日 時 令和6年11月21日(木)
- (2) 場 所 かながわ県民センター
- (3) 出 席 選挙管理委員：伊藤・東城・子島、監事：滝澤・吉野
執行部・常任理事・本部理事・代議員・支部代表理事
法人化推進委員会委員・特別委員会委員・事務局
- (4) 立候補者 野見山 延（現神奈川県剣道連盟副会長）
- (5) 代議員会選挙（設立時代表理事候補者選任）
- ① 立候補者 野見山 延（※1名）
 - ② 投票者 代議員62名・代理者5名（1名欠席）
 - ③ 投票方法 信任投票
 - ④ 選挙結果 信任投票65票 不信任投票2票
- (6) 理事会選挙（設立時代表理事選定）
- ① 候補者 野見山 延
 - ② 投票者 理事38名
 - ③ 投票方法 承認投票
 - ④ 選挙結果 承認票34票 不承認票3票 無効票（白票）1票
- (7) 結果
設立時代表理事（会長）当選者：野見山 延（現・神奈川県剣道連盟副会長）

神奈川県剣道連盟選挙管理委員会告示第1号

一般社団法人神奈川県剣道連盟の設立時代表理事の選挙を、代表理事選挙要領により、令和6年11月21日に行うことを定めた。

令和6年11月1日

神奈川県剣道連盟選挙管理委員会
委員長 伊藤龍紀

一般社団法人神奈川県剣道連盟設立時代表理事選挙要領

代表理事(会長)候補者の募集を下記の要領で開始します。

猶、同法人の設立日は令和7年4月1日付けの予定です。

1 会長立候補者資格

- ① 立候補可能者は立候補時に本連盟に会員として連続10年以上在籍し、在籍中本連盟により戒告を超える処分を受けたことのない者に限ります。
- ② 会長立候補者の年齢は就任時で19歳から80歳までです。
- ③ 役員規則第2条第3項、第4項により当該選挙に立候補できないグループは除かれます。
- ④ 立候補者は以下のいずれかの推薦人を必要とします。
 - ・現幹部3名以上の推薦
 - ・支部長5名以上の推薦
 - ・代議員20名以上の推薦

2 立候補申請書類の提出

立候補希望者は下記の書類を紙媒体もしくは電子的方法で神奈川県剣道連盟事務局内選挙管理委員会へ提出してください。

- ・サイズはA4サイズを用いるものとし、書式、用紙は特に指定しない
- ・記載事項

- ① 立候補者氏名(自筆)、生年月日。
- ② 最終学歴と職歴および剣道関連履歴を簡潔明瞭に現在の状況を最終として記載してください。
- ③ 立候補理由。

④ 推薦人全員の自筆署名。

3 書類提出受付をもって、候補者仮登録とします

正式登録は選挙管理委員会および監事による書類および人物確認後です

4 提出期限 令和6年11月15日17時00分

紙媒体文書 この期限までに事務局に届いていること

電子媒体 この期限までの時間に送付されていること

付記 11月15日以降の予定

11月15日～11月20日 選挙管理委員会及び監事による書類、人物確認

11月21日(木)県理事会(理事・代議員・監事・法人化推進委員合同)開催

於:かながわ県民センター18:00～

- ・会長候補(代表理事候補)を総会(代議員)において投票で選出
- ・その後、ただちに理事会において支部代表理事(法人設立時)による投票で選定
- ・選定された者が、法人化後の会長(代表理事)予定者となる
- ・事務作業は事務局員が担当、投票の確認は選挙管理委員3名と監事で行う

11月または12月 理事・支部代表理事(法人化時)・監事・法人化推進委員合同会議

- ・法人会長(代表理事)予定者が法人設立時における副会長、専務理事、常任理事、理事等の執行部理事候補者及び監事を選出、上記会議に提案する。
- ・全員でなくとも良いが執行部10名、監事2～3名を必須とする。
- ・支部代表理事が投票により決定する。

必要に応じこの間に理事会・法人化推進委員会合同会議を実施

令和7年3月 法人設立前最終理事会・法人化推進委員会合同会議

令和6年11月8日

神奈川県剣道連盟
支部長・理事各位

神奈川県剣道連盟
選挙管理委員会
委員長 伊藤 龍 紀

代表理事立候補理由書について（通知）

神奈川県剣道連盟選挙管理委員会は、一般社団法人化設立時代表理事の選挙を令和6年11月21日に行うことを、令和6年11月1日付で告示をいたしました。

選挙要領、2立候補申請書類の提出②立候補理由については、下記項目を記載のうえ提出されますよう通知いたします。

なお、本通知は神奈川県剣道連盟ホームページに掲載するとともに、立候補予定者には、各支部を通じて周知するようお願い申し上げます。

理由書に記載する事項

1. 法人運営に対する考え
2. 神奈川問題に対する取り組み
3. 不正金返還に対する取り組み
4. 財務改善に対する取り組み
5. 剣道人口減少に対する取り組み

令和6年11月12日

神奈川県剣道連盟

支部長・理事・代議員 各位

神奈川県剣道連盟

選挙管理委員会

委員長 伊藤 龍 紀

代議員代理者届出について（通知）

一般社団法人神奈川県剣道連盟・設立時代表理事の選挙（令和6年11月21日実施）について、改めて連絡いたします。

設立時代表理事（会長）は、一般社団法人神奈川県剣道連盟定款・役員規則・役員選出規則に基づき、代議員会・理事会において選挙で決定します。

はじめに、代議員会（社員総会）において、代表理事候補者を選挙により選任します。

次に、選任された代表理事候補者を理事会（支部代表理事）の決議により選定します。

決定された代表理事候補者が設立時代表理事（会長）となります。

本選挙は神奈川県剣道連盟にとって、大変、重要な選挙となります。

つきましては、選挙当日は代議員・理事の皆様のお出席について特段の配慮をお願いします。

なお、代議員が止むを得ず欠席される場合は、別紙代理者届出の提出をお願いします。

代議員が複数人いる支部において、欠席代議員が出席代議員を代理者とする事は出来ませんので、出席代議員以外の支部代表者（会員）を代理者として届け出ることとなりますので、ご留意願います。

代理者届出については、下記のとおりとなります。

- ・提出期限 令和6年11月14日(木)17時
(役員選出規則第7条第10項 投票日の1週間前)
- ・提出方法 紙媒体・電子媒体
- ・提出先 神奈川県剣道連盟事務局

令和6年11月 日

神奈川県剣道連盟 選挙管理委員会

委員長 伊藤龍紀 殿

支部名

代議員名

(署名)

一般社団法人神奈川県剣道連盟 設立時・代表理事選挙における

代議員代理者届


代議員代理者

氏名

役職

令和6年11月13日

令和6年11月21日 法人設立時代代表理事選挙立候補届出書

野見山 正 

立候補理由書

神奈川においては神奈川問題と称される、願みれば積年のおおきな問題があります。パワーハラスメント、不適切な経理、自由に発言できない理事会などです。一部は改善しましたが、これが定着するにはまだ道半ばです。

私は神奈川県剣道連盟において法人制度を導入し、その精神、考え方を剣道理念と融合の上、会員全員が誇りを持って、立場や年齢、職業等に関係なく、仲良く、楽しく、明るく、礼節を尊びながら連盟のために活動できる環境を実現したいと考えています。ともに活動してきた方々より、この目的達成のためには、私自身が代表理事をめざすべきだと諭され、高齢ながら立候補を決心いたしました。

一口に法人化と言っても、神奈川県剣道連盟の従来のは姿は、法人法に照らし合わせると特殊な部分がいくつかあり、これらを円滑になじませていくことには私が適しているのかなと考え、微力ですが力を尽くします。

法人化したとしても、それだけでは神奈川問題が再燃する可能性は少なくありません。先述のように定着させること、法人化＝民主化といえる状況が普通のことにならなければなりません。

昨年10月にあるきっかけよりこの問題点の一部分を知って以来、今日まで私の対応、基本姿勢は一度も変わっていません。

事実を確認する、間違いが確認できたら当事者に認めてもらい、反省の意をしめしてもらい、一緒に解決をはかり、隠蔽することなく、可能な限り穏やかにすませる、この姿勢を続けています。残念ながら、意に反して、事は大きくなってしまいました。しかし、今後ともなんとか、当初の目的通りの姿で、解決に導く事ができるのではないかと考え、努力していきます。

座右の銘に「(事にあたりて)私心無きや」という言葉があります。役目を果たすときに、自分に利益なることを考えるなという意味です。大学助教授、国立病院院長、そして麻酔科学会総務理事を務めた際にも、常にこの言葉を胸に、役割を果たして参りました。そのおかげでどの場面でも移動や定年に際し、事務方や同僚にもう少し続けてほしかったと言っていたいただきましたし、指導する組織を周囲に評価していただくこともできました。

今回も目的はただ代表理事になることではなく、代表理事でしか実現できないだろうという思いで、立候補いたしました。代表理事に選ばれましたら、引き続き、神奈川問題の解決、はじめに記した状況の実現、剣道人口減少や収支の安定化などを実現します。

私は今までもそうですが、虚偽はもうしません。もし聞かれてその時点で返答することができない場合は、理由をつけて返答できない旨をお答えします。隠蔽などは決してしません。

理由書に記載する事項(選挙管理委員会指定)

1. 法人運営に対する考え

運営に際し、リーダーシップが必要な場合は発揮しますが、基本的に会話、討論により異なる意見を融合し、規則を守り、結果を開示してさらなる意見を募ることを重ねながら運営していきます。法人化とは民主化ともいえます。

法人とは法人法により認定される、法的に認知された組織です。今、スポーツ団体において法人化が非常に強く勧告されています。それはスポーツ団体特有の上下関係の強さがパワーハラスメントや団体指導者による独善的な運営を発生させることが多いため、法人化により、意思決定方法の基準化、情報開示による周囲から監視しやすい体制構築、問題が発生した場合の覚知と対処のルール化などにより問題を未然に防ぎ、対応もしやすくなります。

勿論、法人化して、規則を作成しても、机上の空論とされる危険性があり、問題が発生することをゼロにすることはできません。これを防ぐためには会員全員が法人化により明確になる、会員や役員の権限と責任をはっきりと自覚することが不可欠です。このことを会員に認識していただくことが最も重要であり、会員の責任自覚と運営参加による透明性の高い連盟運営を構築していきます。

2. 神奈川問題に対する取り組み

- ① 原因を会員一人一人にしっかりと認識していただきます
- ② その認識の上に、解決のために何が必要かを理解していただきます
- ③ 解決方法を提示します
- ④ その解決方法を会員全員にも周知し、自分が取り組むという認識をもっていただきます
- ⑤ それを実行していきます
- ⑥ 具体的には 4 名の方への取り組みですが、部分的ですがここまでは一応進んでいます
- ⑦ 全剣連とも協調して解決を図ります
- ⑧ マスコミに対してもきちんと向き合い、その時点で許される範囲の情報は提供しながら、過剰な反応とならないよう会話を重ねます
- ⑨ 原点に戻り、この問題が再発しないようにするには何が必要かを会員に提案します。
- ⑩ 会員がどう考え、どう行動していくべきか、モデルを提示し、連盟全体で解決する体制を構築します

3. 不正金返還に対する取り組み

- ・相手方に問題について認識していただきます
- ・基本的に全額返還です
- ・このためには相手方も土俵に上がっていただくことが重要です
- ・これらはかなり難しい問題ですが、たとえ裁判が必要となったとしても、きちんと対応します
- ・交渉の経過のなかで種々の相互理解も必要となることがあるとおもいます
- ・全権を委任していただきますが、経過につき全て理事会において明らかにし、重要な判断が必要な場合は理事会で決定し、透明性を保ちながら進めていきます

4. 財務改善に対する取り組み

- ・会員に連盟の財政事情が皆さんの家庭、会社であればどのような状態かをまず理解いただきます
- ・ここ数年の赤字の原因のおおきな部分が不適切な会計処理でした
- ・すぐに使える、預金を持っているということが、安易な会計処理を行っていく一因となっており、この意識の改善も必要になります
- ・しかし、それだけではなく、神奈川では大きくはないのですが、会員の減少も取り組まなければならない問題です
- ・会員減少に対する対策にも費用がかかります

- ・これらの今後必要となる事業支出を算出し、同時に現行の事業を継続させていくためにどれくらいの支出が必要かを厳密に算出します
- ・減少できる歳出の洗い出しを行います
- ・このなかで、もし赤字となるようであればその対策としてどのような方法があるかを提示し、理事会の判断と幹部の考えに違いがあれば、しっかりと相互理解を深め、その上で予算計画を作成します
- ・将来構想の中で、事務所を現在のままが良いか、購入が良いかを継続的に議論していきますが、結論ありきの方針ではありません

5. 剣道人口減少に対する取り組み

- ・4の問題と密接に関連する問題です
- ・方法は大きく分け3種類あると思います
- ・この対策の鍵となるのが、日本では減少しているが、海外では剣道人口が増加しており、世界大会への参加は増加を続けているという点であるとおもいます
- ・高校生ぐらいまでは格好良さというのも、とりかかりの一つですし、外国の方や年齢が進むと精神性、伝統文化と表現される部分もその一つです
- ・これらの魅力につき「やってみよう」と始めた仲間がいつまでも、できるだけ長く、一度離れても又戻ってきってくれるような状況の醸成が重要です
- ・すぐに取りかかれる問題点として、中学生ではじめ中学卒業とともに離れる仲間をできるだけ少なくすることです。先日の剣道研究会を企画したのは、中学生が卒業と同時に辞めるという現実、それに対して一部の人間が工夫して、改善できているという現実、さらに他都道府県の改善例などがあることを知り、これはおおきな成果を生み出せると思ったからです。
- ・具体的には、中体連剣道部門の活動ができなくなっている部分を県剣連が補っていくこと、地元の中学校剣道部の部活動を地域移行＋地域補助などを組み合わせて、道場連盟や高体連がどう支えられるかなどなど、実行可能なプログラム企画があります。これをまず開始し、次にその他の対策に取りかかります。

各項目とも意見は尽きませんが、以上とさせていただきます。

令和6年11月17日

神奈川県剣道連盟

会長 幸野 實 殿

下記審査結果により、一般社団法人設立時代代表理事立候補者の資格要件に適合していることを報告します。

神奈川県剣道連盟選挙管理委員会

委員長 伊藤龍紀

委員 東城俊也

委員 子島直人

神奈川県剣道連盟

監事 吉野和世

審査結果

立候補者名 野見山 証 (現・神奈川県剣道連盟副会長)

I 立候補者の個人資格			適合	不適合
1	在籍年数	連続10年以上	○	
2	処分の有無	戒告処分以上の処分を受けていない	○	
3	年齢	19歳から80歳まで	○	
4	推薦人	現幹部3名以上		
		支部長5名以上	○	
		代議員20名以上		
II 提出書類の適否			適合	不適合
1	立候補者氏名	自筆	○	
2	生年月日		○	
3	経歴	最終学歴	○	
		剣道関連履歴	○	
4	立候補理由	法人運営に対する考え	○	
		神奈川問題に対する取り組み	○	
		不正金額に対する取り組み	○	
		財務改善に対する取り組み	○	
		剣道人口減少に対する取り組み	○	

一般社団法人神奈川県剣道連盟設立時代代表理事選挙結果

令和6年11月21日執行

代議員会 投票結果

結果	有権者数	投票者数	信任票数	不信任票数	無効票
		68	67	65	2

理事会 投票結果

結果	有権者数	投票者数	承認票数	不承認票数	無効票 (白票)
		38	38	34	3

神奈川県剣道連盟選挙管理委員会

委員長

伊藤 龍紀

委員

東城 俊也

委員

子島 直人

神奈川県剣道連盟

監事

滝澤 建治

監事

吉野 和世

当 選 証 書

野 見 山 延 殿

あなたは令和 6 年 11 月 21 日執行の
一般社団法人神奈川県剣道連盟設立時
代表理事に当選したことを証明します

令和 6 年 11 月 21 日

神奈川県剣道連盟

選挙管理委員会

委員長 伊藤龍紀